

NEWから、Innovationへ

OZ Check Sheet

～映画&ドラマの（客観的で妥当性がある）評価のためのツール～

○ 基本説明

作品名	番組名・映画名（公開年度、制作会社・枠など）	総合点	-5 ～ +10
5味(ドラマの旨味成分)		非ドラマ成分(+留意点)	
事件	◎ 出来事: 刺激の程度を吟味	「因果律(原因→結果)」は、非ドラマ成分 ドラマ成分は、「対決・対立・葛藤・恋情」 〈設定・説明・伏線〉は、非ドラマ成分 「サスペンス・謎解き」も、非ドラマ成分 ◎・○・△・×の得点: (+2・+1・±0・-1)	
怪物	○ 人物: 誇張されたキャラが重要		
哲学	△ 行動原理: 常識・良心では弱い。		
感情	× 「(自発の)感情・情緒」が行動化		
意志	× 環境・運命に逆らう(自発的な)意志		
♂:主人公(男) ♀:ヒロイン E♂: 仇敵(男)		sponta 2020	

○ 記入例

【ロングセラー・秀作】

OZ Sheet

2020*08*13

作品名	番組名・映画名（公開年度、制作会社・枠など）	総合点	+6
5味(ドラマの旨味成分)		非ドラマ成分(+留意点)	
事件	△ 孤児少女・車椅子少女の物語	・自然との交流も擬人化により〈ドラマ〉化。 ※ 仇敵はロッテンマイヤーさんぐらい。 ・ドラマ化により、〈非ドラマ成分〉なし。	
怪物	◎ ♀; (純粹&利他的)怪獣		
哲学	◎ 自然と生きる vs. 人間都会		
感情	◎ ♀; 隣人への思いやりに満ちる		
意志	△ 意志ではない。自発&自然。		
♂:主人公(男) ♀:ヒロイン		sponta 2020	

【最高点・年間ベストワン】

Hyper OZ Sheet

作品名	愛の不時着 (2020年NETFLIX 韓国ドラマ)		総合点	+10
5味(ドラマの旨味成分)			非ドラマ成分	
事件	◎	北朝鮮脱出。韓国、暗殺回避。	・「ドラマ化」により皆無。	
怪物	◎	北朝鮮の腐敗分子。		
哲学	◎	運命・環境(体制)に負けない。		
感情	◎	恋愛。部下・主婦たちの愛情。		
意志	◎	愛を貫く。へこたれない。		

sponta 2020

【合格点・ロングセラー】

Hyper OZ Sheet

作品名	相棒 (2000年～ テレビ朝日・東映)		総合点	+4
5味(ドラマの旨味成分)			非ドラマ成分	
事件	◎	殺人事件の捜査・真相究明	・真相究明は〈非ドラマ〉 ・鑑識課員& 監察官は狂言回し。 ・右京と警察幹部の対決のみ〈ドラマ〉	
怪物	◎	右京はサイコパス(怪物)		
哲学	◎	警察組織論理に負けぬ 遵法精神		
感情	×	右京は感情で動かない		
意志	×	職務の遂行。サイコパスの発露		

sponta 2020

【低刺激度作品・習慣的魅力】

OZ Sheet

2020*07*26

作品名	「男はつらいよ」(全50作 1969~1997・2019年・松竹)		総合点	±0
5味(ドラマの旨味成分)			非ドラマ成分	
事件	×	犯罪・殺人は発生しない。	・放浪先の旅情。 ・結実せぬ恋愛。 ・「茶の間の喧嘩・融和」に新展開なし。 (ストーリーは進行しない) ←下町情緒 ←「良き日本人」は作意を嫌う。	
怪物	○	寅は純情の化身。(準怪物)		
哲学	×	美しき日本人の良心(非哲学)		
感情	◎	家族それぞれを思いやる。		
意志	×	寅は自発・自然。(非意志)		

sponta 2020

○ こあいさつ。

私達は「新しい」という価値を大切にしてきた。だが、「どのジャンルにも属さないものは駄作である」とも言われる。この提案では、「過去の傑作」を進化させたもの・改善したものこそ、「新しい」との考える。

悲しい哉、現在、日本の作品は「新しさ」を求めるあまり、過去の作品の「長所」の寄せ集めが多い。散漫な作品が多い。一方、韓流ドラマは、「パクリも辞さない」国民性のため、作品は日々、「進化している」。

現状を打開すべく、〈OZ Check Sheet〉という「評価ツール」を提案する。
実際に活用していただければ、幸甚である。

○ OZ チェックシートの使い方

1. 【評価対象作品のOZシート作成】

- ・ 評価対象作品の〈ドラマ成分（5味）〉を吟味・考察し、各評価値を策定。合算して、総合点を算出する。〈非ドラマ成分〉も勘案する。

～必要ならば、以下を行う～

2. 【ミメーシス作品のOZシート作成】 = ミメーシス作品; 評価対象作品と類似した過去の傑作。

- ・ 評価対象作品の〈ミメーシス作品〉を選び出す。
- ・ ミメーシス作品のOZシートを作成する。

3. 【評価対象作品とミメーシス作品の相対吟味】

- ・ 〈評価対象作品〉と〈ミメーシス作品〉を見比べ、「さらにインパクトが強化されている」なら、企画をすすめる。
～ そうでないなら、「評価対象作品」を再考する。

※ 「作品の評価」は、評価者の個人差により偏向します。しかし、ミメーシス作品との対照により無くなります。

○ 評価の解釈。

【作品を進化させる技法は、3つ】

- ・ 古代ギリシア・ミメーシス演劇論（過去の傑作と現実の模倣・再現）
- ・ 17世紀フランス古典演劇理論（本当らしさ、内的整合性/外的適合性、驚異的、三一致の法則）
- ・ OZ理論（ドラマ成分の5味、非ドラマ成分、壁檻枷、進行感・・・など）

【（ありがちな）改善・進化ポイント】

- ・ 運命に負ける主人公 → 運命に勝利する主人公。
- ・ 受動的意志の主人公 → 能動的な意志の主人公。
- ・ 断片化したエピソード（団子の串刺し） → 有機的につながっているエピソード。
- ・ 代理戦争 → 直接対決。
- ・ 〈設定〉 → 〈ドラマ〉。
- ・ 断片化したエピソード → 有機的につながっているエピソード。

....etc.

【凡例】

- ・ 「これは経費では落ちません」は、「ビジネスエピソードと恋愛エピソードを一体化する」ことで、進化している。
- ・ 「義母と娘のブルース」は、ありがちな「意地悪な義母」の逆パターンをドラマ化した。進化である。
- ・ チェ・ジウ主演「冬のソナタ」は運命（初恋）に蹂躪させるヒロインの話。一方、彼女がその後に主演した「スターの恋人」のヒロインは、運命（初恋）を乗り越える。
- ・ マービン・ルロイ監督の「哀愁」のヒロインは運命に負けた女性。ヒーローは彼女を辛さを知らない。だが、その後の監督作品「心の旅路」ではヒロインは運命に勝つし、ヒーローも彼女と同様の悩みを抱え、お互いが心を通わせるところでエンドマークとなる。

○ **補足説明。**

OZチェックシートの論拠や、〈ドラマ成分〉〈非ドラマ成分〉の定義。背後の思想・体系については、同封の「ドラマ・ノート」をご参照ください。

より詳しい説明を「拙ブログ（ポストモダンから見たこの世界）・OZ評価カテゴリー」で行っています。

【sponta中村のOZ理論】

映画・ドラマの「客観的で、妥当性のある評価基準」（2020.07.17）

<http://sponta.seesaa.net/article/476364266.html>

評価の実際 & 例外。（2020.07.17）

<http://sponta.seesaa.net/article/476359411.html>

評価のご要望・質問などがありましたら、以下にコンタクトをお願いします。

sponta中村（世田谷区在住61歳）

sponta0325@gmail.com

次ページは、付録の空シートです。ご試用・活用ください。

OZ Sheet

* *

作品名			総合点	
5味(ドラマの旨味成分)			非ドラマ成分(+留意点)	
事件				
怪物				
哲学				
感情				
意志				

♂:主人公(男) ♀:ヒロイン E♂:主人公の仇敵。

sponta 2020

OZ Sheet

* *

作品名			総合点	
5味(ドラマの旨味成分)			非ドラマ成分(+留意点)	
事件				
怪物				
哲学				
感情				
意志				

♂:主人公(男) ♀:ヒロイン E♂:主人公の仇敵。

sponta 2020

OZ Sheet

* *

作品名			総合点	
5味(ドラマの旨味成分)			非ドラマ成分(+留意点)	
事件				
怪物				
哲学				
感情				
意志				

♂:主人公(男) ♀:ヒロイン E♂:主人公の仇敵。

sponta 2020